

聞いて 聞いて!

♪エピソード♪

ユリさんは小学3年生の女の子。家に帰るとお母さんは夕食の支度を終えて、台所でスマホを見ていました。ユリさんはお母さんの横に立って話し始めました。

ユリさん：「ただいま。ねえお母さん、聞いて、聞いて。」

お母さん：「おかえり。」

とスマホをスクロールしながら返事をしました。

ユリさん：「来年からクラブが始まるでしょう。何クラブにしたらいいな。」

お母さん：「そうね。何がいいかしら。」

ユリさん：「エリちゃんは料理クラブがいいんだって。私も同じクラブにしようかな。」

お母さん：「そうね。」

とスマホから目を離さずに言いました。

ユリさん：「手芸もいいな。ねえお母さんどう思う？」

ユリさんはお母さんと腕を組もうとしました。

お母さん：「今、スマホを使っているでしょ。ちょっと後にしてくれる。」

ユリさん：「……。」

- ① お母さんに「ちょっと後にしてくれる。」と言われたとき、ユリさんはどんなことを思ったでしょう。

お母さんは、どうしたらよかったと思いますか。



② エピソードのように子どもの話を聞いてあげられないことはありましたか。
また、最近お子さんとどんな話をしましたか。

③ 子どもの話に耳を傾けるために、心がけていることはありますか。
また、どんなことを心がけていきたいですか。



家庭で話そう！

「我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」に
関する 三行詩【小学生の部】

・今日、あのね。

・ごはんを作るママの横で、

学校のことを話すのが毎日の楽しい時間。

明日も楽しいことがあるといいな。」

・朝は、ぼたぼた。

昼は、ばらばら。

夜は、みんなでぼっかぼか。」

・ぼくのおかあさんは

100てんよりも「たたいま」が

いちばんうれしいだって」

・お母さん

あじやなくて 今かいっ！」

資料

令和2・3年度年度 文部科学省

「楽しい子育て全国キャンペーン」より